7.3. ニョーアイングは、 ニューマィーつでは 9月月晚 (2) (三角当 · 附有律変形の初期(鱼力(九)= 入。を未知量でして、マキを少しずっかで正して 殿端 条件  $(\chi_{1}) = \left(\frac{36}{32}\right)^{T} (\chi(\chi_{3}))$ か成り立っようにする方は、 附近代党的自和期间的"分别"的发行变化几定义主,旅游时刻后的门上的流到人人人。 lo 2(大), ろ(大), い(大)の変動を 8×(大), 8つ(大), 8い(大)とする、)。オイラー・ラブラーニュ方程式のうち、酸端条件 (7.4) 2スタトをすべて(満たりとする、 (t, n3 + x) = f(x+ 5x, u+ 84, t)  $(\chi, \kappa S + \kappa, \nu S + \kappa) + \kappa S + \kappa) + \kappa S +$ 0 = (t, 68+K, n8+n, x8+K) = 0 T2 7="U )· X(大) = ス。: 国京より Sx(入。) = o . )· Sス(大。) = Sス。 マッテえる. 一、殿衛条件(7.4)における誤差が「成るようにある。を上手くらえる」 ® 9 Teylor 原南 を考えると、 (X, RB+R, r2+2) T(HB)-(X, CZ+K, NZ+N, KZ+K) HE  $=\frac{3\mu}{3\mu}(\chi,\chi,\chi)+\left[\frac{3\mu}{3}\left(\frac{3\mu}{3\mu}\right)+\frac{3\mu}{3}\left(\frac{3\mu}{3\mu}\right)\right]\left(\frac{3\mu}{3}\right)$ 7" [].

~ (1,1),(1,3),(1,5)と 々差をとる、

$$Su = -\left(\frac{3H}{3x}Sx + \frac{3f}{3u}Su - \frac{3h}{3x}Sx\right)$$

$$Su = -\left(\frac{3H}{3u}Sx + \frac{3h}{3u}Su - \frac{3h}{3x}Sx\right)$$

$$Su = -\left(\frac{3H}{3u}Sx + \frac{3h}{3u}Sx - \frac{3h}{3u}Sx\right)$$

$$Su = -\left(\frac{3H}{3u}Sx + \frac{3h}{3u}Sx\right)$$

$$Su = -\left(\frac{3H}{3u}Sx + \frac{3h}{3u}Sx\right)$$

2かて3大りの分外を行うりは、5、3前に同様に変形できる。

ここて-、畸变 「行引 A(大)、B(大)、C(大) E, 5.2 即 c 同群12、

$$C(\chi) = \frac{3\chi_{7}}{9\chi} - \frac{9\chi}{9\chi} \left(\frac{9\chi_{7}}{3\chi}\right) - \frac{9\eta}{9\chi}$$

$$B(\chi) = \frac{9\chi}{9\chi} \left(\frac{9\chi_{7}}{3\chi}\right) - \left(\frac{9\chi}{9\chi}\right) + \frac{9\chi}{9\chi}$$

$$A(\chi) = \frac{9\chi}{9\chi} - \frac{9\chi}{9\chi} \left(\frac{9\chi_{7}}{3\chi}\right) - \frac{9\chi}{9\chi}$$

と定義するて、コスでの間形役分合所群なかで置かれる。(5.3 部を同じギロン)

$$\begin{bmatrix} x8 \\ x8 \end{bmatrix} \begin{bmatrix} (x)8 - (x)A \\ (x)7A - (x)2 - \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} x2 \\ x8 \end{bmatrix} \frac{\iota}{x\iota}$$

o 58 = (ot) x2, 0 = (ot) x2

~ 随作变积 g剂射值 λ(大。) を δλ。 た 竹変化 ませた ても g 角 g 使か 解形 次分方程 太 g 所 で 5え ら キ る 、

南外が運動門門を住れ えべる、

3 (1) 1

$$\frac{\partial}{\partial x} \, \underline{\mathfrak{P}}(x) = \begin{bmatrix} A(x) & -\beta(x) \\ -c(x) & -A^{\mathsf{T}}(x) \end{bmatrix} \, \underline{\mathfrak{p}}(x)$$

(7.11)

$$I = (a, \zeta) \mathcal{\overline{\Phi}}$$

(7, (2)

を一番なるもりでする。 ましかを、係取門到と回降りプロックに分割、

$$\overline{\Phi}(\chi) = \left[ \overline{\Phi}_{11}(\chi) \quad \overline{\Phi}_{12}(\chi) \right] \\
\overline{\Phi}_{21}(\chi) \quad \overline{\Phi}_{22}(\chi)$$

$$\begin{bmatrix} S_{\mathcal{X}}(\lambda_{f}) \\ S_{\mathcal{Y}}(\lambda_{f}) \end{bmatrix} = \overline{\mathbb{Q}}(\lambda_{f}) \begin{bmatrix} S_{\mathcal{X}}(\lambda_{0}) \\ S_{\mathcal{Y}}(\lambda_{0}) \end{bmatrix}$$

$$= \begin{bmatrix} \overline{\mathbb{Q}}_{11}(\lambda_{f}) & \overline{\mathbb{Q}}_{12}(\lambda_{f}) \\ \overline{\mathbb{Q}}_{21}(\lambda_{f}) & \overline{\mathbb{Q}}_{22}(\lambda_{f}) \end{bmatrix} \begin{bmatrix} 0 \\ S_{\mathcal{Y}} \cdot 0 \end{bmatrix}$$

$$= \begin{bmatrix} \overline{\mathbb{Q}}_{12}(\lambda_{f}) & \overline{\mathbb{Q}}_{22}(\lambda_{f}) \\ \overline{\mathbb{Q}}_{21}(\lambda_{f}) & \overline{\mathbb{Q}}_{22}(\lambda_{f}) \end{bmatrix} S_{\mathcal{Y}} \cdot 0$$

と表文中了、したがって、終始条件 (7.4)の誤差

$$E = \lambda(\chi^2) - \left(\frac{3\xi}{3\chi}\right)^{\perp} (\chi(\chi^2))$$

(7,13)

9次小变化()

 $(\xi x) \times S = \frac{3^2 \xi}{2x^2} (\chi(x)) \times S = \frac{3}{2} = \frac{1}{2}$ 

~う 設差の修正量」目が、到ましい値にはままうなるようなるとかがあることが、

e.g. 1E=-E:==- h=it

$$\delta \tilde{\gamma}_{\circ} = -\left(\overline{\mathfrak{g}}_{22}(\chi_{5}) - \frac{\partial^{2} \theta}{\partial \chi^{2}}(\chi(\chi_{5}))\overline{\mathfrak{g}}_{12}(\chi_{5})\right)^{-1} = (7.4)$$

- つ ス(大。) り 10多正量

~ つ つ(大。) の 行を正を 床襲り 返して E=の と フェアは、オイウェ・ウケッラニュニョ 言称式 (つ.1) - (り.5) がすべて (商ん エネる、

2入上をアルブリズムの形で、まとめる、

Algorithm 7.3 (=2-〒127) 「主、愛移がりり(2よ3 宮注) (1) 直当りよべりトルカ。を門所住、安林の初期(直に対する初期を定解してて 与える、

(2) (7.2) と み(大。) - み。を本の 脚条月十 として 連定 総分方程で (7.1), (7.3) を 振衛 瞬刻 大 まで 設値的に削ま、水態 い(大) と 即項件変収 み(大) (九ら大 と 大 大 大 ) を で ある、

・・ を時刻の制御人かい(大)は、(7.5)をい(大)について降いてかれる。

- (3) 飛輪条けり誤差をを(9.13)によって意で無する、川川かってそのにそのでれて、イカマ、てって、1177日で、イス・ステップでへ、
- (4) (7.11)を、(7.12)の初期条件から飛端時刻次まで放便的は属する。 運動行りのでして、更に(大)と更に(大)をがめる、
- (5) (7,14) 125,7 87. & tid3.
- (6) か。:= か。t あみ。とい スラップ (2) へ。

Remark の機能行列のうち更加と更致の対象しる。 のはこったは、終端におけるのは、あり、るみ(物)に知る条件とみるせる。 へいここって、こつではは、原形的か方形かの方程かの之意透界個回徙と考えることも できる。

例代かりつかけなかかる程式のAternation

~媛門行列を直接用いなっていつりではもませてきる。

所へべままれる: 意見値かという

$$\frac{d}{dx} \begin{bmatrix} \zeta \zeta \\ \zeta \zeta \end{bmatrix} = \begin{bmatrix} \zeta(\zeta) - \beta(\zeta) \\ -\zeta(\zeta) - A^{T}(\zeta) \end{bmatrix} \begin{bmatrix} \zeta \zeta \\ \zeta \zeta \end{bmatrix} \frac{d}{dx}$$

$$(7.15)$$

 $SX(\lambda_0) = 0 \qquad (7.6)$ 

$$(7.17)$$

11 - E 22 7"

終端条件(1.17)が成り立っように2

$$(81.7) \rightarrow (t) \times 2(t) = (t) \times 3$$

$$S(\chi^2) = \frac{3\chi^2}{3\chi^2} (\chi(\chi^2)) \qquad C(\chi^2) = \gamma = \gamma \qquad (3.13)$$

を依定し、(7,15)1:11人、

~> 逐郡。行引至有了区(D-20)、(D.21) 至英两市 了商气二之了。 那那、之点工意思有面的股友解之。

backward sneep

backward sweep & TIVD" 17249 A1; 7 7-LAS

- Algorithm 7.4. (=2-7,=7)[] : backward sweep (2 & 3 873)
- (1) 適当なべつトルス。を、戸酒伴安积の初期行道に対する初期推定所でいてちえる。
- (2) (り、2) × 入(九)= 分。で初期条件 として 連立級份方程式 (ワ、1) (ワ、3) で 設端時刻 大。まで 部値的に附至、状態 x(大)と随行 変成 入(次) (九5久三次)を示める、この限、 圣時刻 の制御入力 は お程式 (り、5) を 以(大) にっいて解 いてがかる、
- (3) 設場条件の設差日を(7.13)によって記事する、||日||が十分のに近けれる、存止し、てかい217年は22ペのステックのへ、
- (4) (7.20), (7.21)を競輪条件 (7.19)から初期時刻かまで連時向方向へ ひらいと解え、行引 ス(ス) とくつしい (大) (大き大き 大) をかめる.
- (S) (1.23) (= 5,7 5), & it &3.
- (6) る。:= カ。+ Sカ。 として ステップ (2) へ、
  - Remark
  - ·ニューティニアではてい、制御人力の関係という無限2尺元の量を水める最適制御内とが有限2尺元の初期随件受限入(加)二入。を水める内政に帰着、
  - · λ(大。) α 変 化 に対する x(大s) と λ(大s) の変化 は 差分2512人で表すことも可能、
  - ・(つ、川)、(り、15)の体积行列は八きにトン行列と呼ります。 ある国有値のに対して必可・一点も固有値に対象
    - ··· 承多国有值台门对门谈说"一台专国有值气力的。 ~ 時不变《場合了了,安定对国有值火不安定的国有值《两方を持つ。

## 012427

爱和

~ 門猶件受取の初期値を同じ大生はだけ変化生せても、 )の 旅端者件の設差がはよくない変形がなっ ) では大きくなる。

(积字的12 美西的 backward sneep も 円活)

へのミューティニアではは秋風的国難は門面りですく、衣の期間之所が降にてか近くコーマ人東クコーキ易会がある。